

保存版

洪水に備えて

美東町 大田川洪水避難地図

洪水ハザードマップ

住民の皆様へ

大田川の河川改修は国の景気浮揚対策と山口県のご高配ご尽力により、金焼地区から美東病院までの間は一気に整備が進展いたしました。

しかし、その後国の公共事業費は年々削減され、美東病院から上流の河川改修が今後の大きな課題になっております。

特に大田市街地は別図のとおり、ほとんどの区域が50cm程度の浸水区域と想定されております。

近年は異常気象により、いつ・どこで、局地的・集中的な豪雨が発生するか判らない状況であります。

先年発生した岩国市錦川のような異常洪水が、この地域で起こることもあり得ると思います。

そこで、このたび町では国土交通省や山口県のご協力をいただき「**大田川洪水避難地図（洪水ハザードマップ）**」を作成いたしました。

洪水の被害を最小限に食い止めるためには、住民の皆様一人ひとりが「自分の身は自分で守る」という意識を持って、安全な避難場所に避難していただくことが大切です。

この避難地図は住民の皆様へ、大田川で想定される浸水の状況や避難に関する情報をあらかじめ提供し、洪水の危険性の認識と、いざというときの速やかな避難に役立てていただくためのものです。

是非とも、ご一読のうえ保存・活用していただきますようお願い申し上げます。

平成20年2月 美東町長 倉増 卓雄

避難時の3つのポイント

- ①**早めの避難を！（道路や地面が浸水する前に）**
- ②**避難は2人以上で（ご近所と声をかけあって）**
- ③**水が来てしまったら無理せずに**

平常時の心得(我が家の防災メモ)

平常時から避難場所を確認し、避難路を実際に歩いて確認しておくことは大切です。

また、災害時に家族が離れ離れになったときの連絡方法や集合場所を家族で話し合っておきましょう。



緊急連絡先

| 連絡先 | 電話 | 連絡先 | 電話 |
|--------|--------|--------|---------------|
| 美東町役場 | 2-5000 | 役場災害携帯 | 080-6308-7839 |
| 役場災害電話 | 2-0241 | 美祢消防署 | 0837-52-2176 |
| 上水・下水道 | 2-5001 | 中国電力 | 0839-24-7211 |
| 美東交番 | 2-0181 | N T T | 局番なし 116 |
| 美東病院 | 2-0515 | | |

家族の連絡先

| 氏名 | 電話(会社・学校) | 住所 | メモ |
|----|-----------|----|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

避難場所

| | |
|-------------------|--|
| 避難場所 | |
| 家族が離れ離れになった時の集合場所 | |

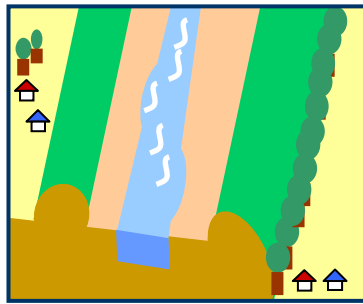
家族の救急用データ

| 氏名 | 生年月日 | 血液型 | アレルギー | 常備薬 | 病気 |
|----|------|-----|-------|-----|----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

このハザードマップに関する問い合わせ先
美東町役場 総務課・建設課 (美祢市美東総合支所)
TEL 08396-2-5000
URL : <http://town.mitou.yamaguchi.jp/>

洪水の起こり方について

洪水とは



普段の川



洪水のときの川

洪水とは、雨や雪解けによって、川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。川原へ行くと、広い敷地のわりに細い川しか流れていませんが、それが普段の姿です。

ところが、川幅いっぱいに水が押し寄せると、広い川原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。

はん濫とは



外水はん濫

雨などによって街や農地などに、川から洪水があふれることを「外水はん濫」といいます。

川から洪水があふれたのではなく、街や農地に降った雨が直接たまり、あふれてくることを「内水はん濫」といいます。

内水はん濫

河川の水位と水位情報

| 基準水位 | 水位の位置づけ | 住民の行動 |
|---------|---|--|
| はん濫危険水位 | 洪水により家屋浸水など相当の被害が生じるはん濫のおそれがある水位 | 避難完了 |
| 避難判断水位 | 町が避難勧告などの発令を判断する水位 | あなたが避難を判断する水位 |
| はん濫注意水位 | 町が避難準備情報などの発令を判断する水位 水防（消防）団が出動する目安となる水位 | あなたがはん濫に関する情報に注意する水位。避難に時間や手助けが必要な方（災害時要援護者）が避難を判断する水位 |
| 水防団待機水位 | 水防（消防）団が出動のために待機する水位 | |

避難の判断について

■洪水の危機が迫ったときは、町役場や消防署等から避難の呼びかけがあります。しかし、避難するタイミングをつかんで**実際に行動するのはあくまでもあなた自身**です。

■周囲からの情報を聞き逃さないように十分注意するとともに、決して一人では判断しないように心がけ、間違った情報やデマでないことを確認して行動しましょう。また、山崩れやがけ崩れが起こりやすい状況になっていますので、避難する場合には土砂災害にも十分注意しましょう。

■避難にかかる時間

大人が歩く速さは普通1時間に4km程度ですが、雨の中を避難することや、子供やお年寄りのことを考えると、概ね1時間に2km程度しか移動できないと思われるので、周りの情報に注意して早めに避難場所へ避難しましょう。

雨の降り方について



雨の強さチェック①
普通の雨
(1時間に
5~10mm)

地面に水たまりが出来る程度の雨。雨の音もあまり気にならない強さです。



雨の強さチェック②
強い雨
(1時間に
10~20mm)

地面一面に水溜りが出来、雨の音も少し気になります。すぐ降り止む時は大丈夫ですが、長く続く時は警戒が必要です。



雨の強さチェック③
激しい雨
(1時間に
20~30mm)

どしゃ降りの雨で、傘をさしていても、濡れるほどの雨。小さな河川なら、はん濫することもあります。



雨の強さチェック④
非常に激しい雨
(1時間に
30~50mm)

バケツをひっくり返したような雨。山崩れ・がけ崩れなどが発生しやすくなります。



雨の強さチェック⑤
猛烈な雨
(1時間に
50mm以上)

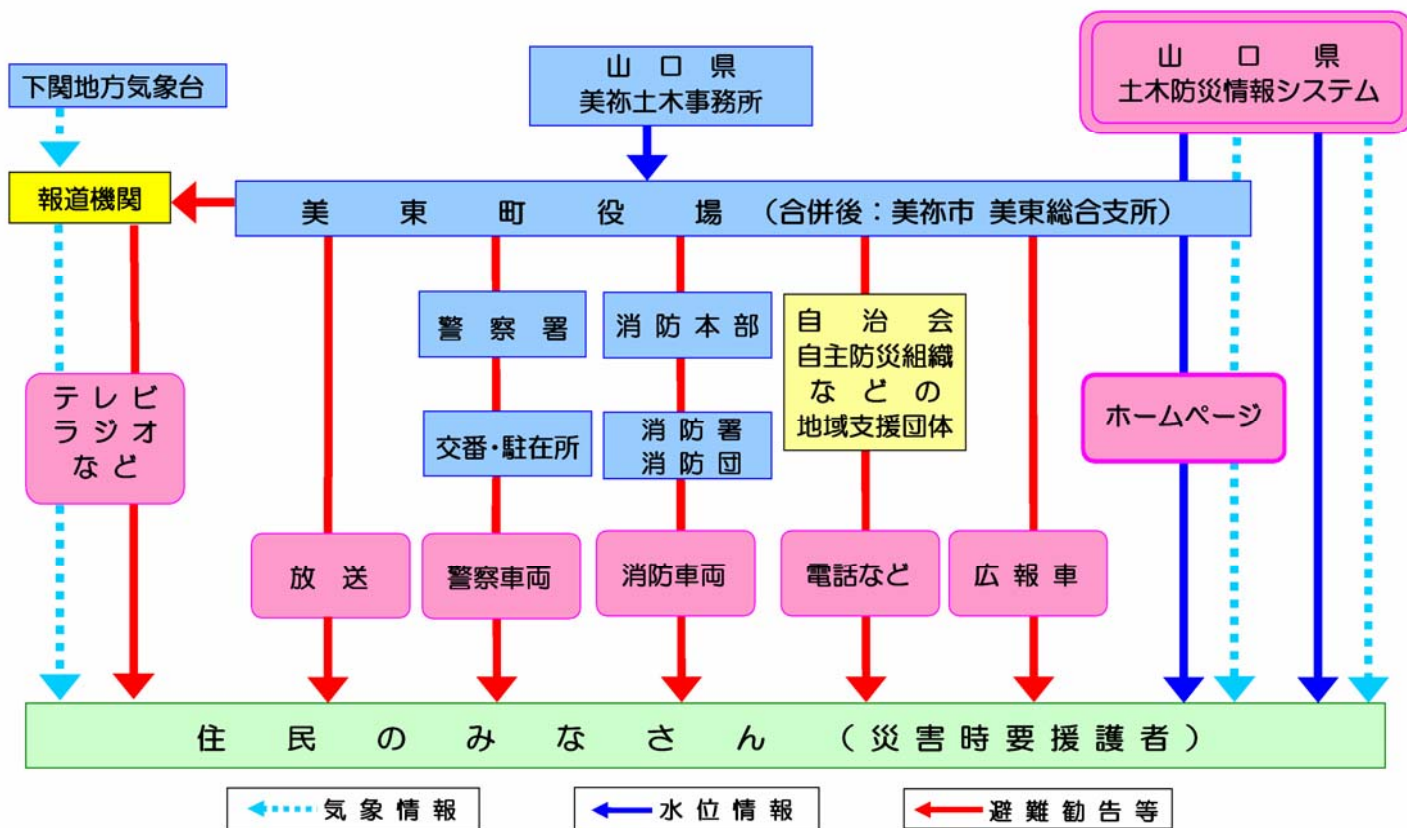
滝のように降り、先が見えないほどの雨。中小河川がはん濫し、土砂災害・水害が発生、拡大する可能性が非常に高くなります。

気象情報について

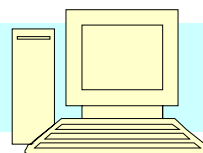
雨が強く降り出したら、テレビ、ラジオ等を通じた気象情報に注意しましょう。下の表は、下関地方気象台の注意報・警報の発表基準です。

| 気象予報 | 1 時間雨量 | 3 時間雨量 | 24 時間雨量 |
|----------------|---------|---------|----------|
| 大雨注意報 洪水注意報 | 30 mm以上 | 50 mm以上 | 100 mm以上 |
| 大雨警報 洪水警報 | 50 mm以上 | 80 mm以上 | 150 mm以上 |

気象情報や避難情報の伝達について



山口県土木防災情報システム ⇒ <http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp>
 下関地方気象台 ⇒ <http://www.fukuoka-jma.go.jp/shimonoseki/>



避難準備・避難勧告・避難指示が出されたとき

避難勧告と避難指示どちらが先に出されるか
 知っていますか？間違えないでね、
 もう一度家族みんなを確認を！

1. 避難準備

避難の準備をし、避難に時間がかかる人や援助の必要な方は、避難を始めましょう。

2. 避難勧告

避難を拘束するものではありませんが、みなさん自主的に避難を始めましょう。

3. 避難指示 (避難命令)

被害の危険が目前に迫っている場合等に発するもので、直ちに避難しましょう。避難勧告より拘束力があります。

大田川がはん濫したら・・・

洪水は、梅雨期や台風期などの大雨により流域に降った雨が様々な支川から大田川本川に集まり、この雨水量が大田川の流下能力を超過した場合に発生します。

このような洪水を防ぐために、大田川では河道整備を主体とした治水対策を下流より順次実施していますが、十分な整備には時間がかかることや、また想定を上回る大雨が降る可能性があること等から、今後も洪水による被害が発生する恐れがあります。

大田川では過去に大きな浸水被害は受けていませんが、近年の想定外の降雨に対して十分注意しましょう。

～大雨が発生したら～

- ①大雨が発生したときには、河川の水位の動向、大雨・洪水に関する情報や注意報に十分注意してください。
- ②想定以上の雨が降った場合は、浸水の範囲がより広くかつ浸水深が深くなります。
- ③さらに、堤防が壊れてはん濫が始まるときの水の勢いは非常に強くなりますので、特に堤防の近くにお住まいの方は早めに避難することが大切です。



▲大田川 整備済み区域



▲大田川 未整備区域

美東町には多くの高齢者の方が暮らしています

高齢者の安全な避難に向けての3つのポイント

- ポイント①：あらかじめ災害時の援護者を決めておきましょう。
- ポイント②：できるだけ複数の人で対応できる体制を作りましょう。
- ポイント③：耳の不自由な方には、話すときは必ず近寄り、まっすぐ顔を向けて、口を大きくはっきり動かすことに注意しましょう。
口頭で伝わりにくいときは筆談を。



避難時の心得

非常持ち出し品を常備し、定期的に点検しましょう



| 非常持ち出し品チェックリスト | |
|----------------|-------------------|
| | 懐中電灯（電池） |
| | 携帯ラジオ（電池） |
| | 非常食・水 |
| | 医療品 |
| | 現金・貴重品 |
| | 衣類（カパ°・軍手・下着・上着等） |
| | 洪水ハザードマップ |
| | |
| | |

参考：
非常持ち出し品の
重さの目安は、
男性で15kg
女性で10kg
程度です

災害用伝言ダイヤルの利用方法

災害発生時は、電話がつながりにくい状況が1日～数日続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。これは「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音方法

1 7 1

▼ ガイダンスが流れます

録音の場合

1

▼ ガイダンスが流れます

(XXX) XXXX-XXXXXX

録音

伝言の再生方法

1 7 1

▼ ガイダンスが流れます

再生の場合

2

▼ ガイダンスが流れます

(XXX) XXXX-XXXXXX

再生

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

